

自己評価（学校関係者評価）結果公表（平成27年度）

青山幼稚園

1. 本園の教育目標

教育・保育理念「健やかに体いきいき心のびのび」とした子どもの育成を旨とす。

《期待される子ども像》

- よい習慣や態度を身につけ友だちを思いやる子ども
- 元気よく遊び、進んで行動する子ども
- 身近な自然に興味・関心を持ち、自然に親しむ子ども
- よく見聞きして、よく考える子ども
- 自分の思いや考えをのびのびと表現する子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

本年度は本園創立51年目の新たな出発の年である。「健やかに、体いきいき、心のびのび」の教育方針を全ての教職員で確認し、日々の保育や行事を通して、未来に向かって豊かにたくましく生きる子どもを育てるため、保護者、家庭と協働し、子どもを中心にした効果的な取り組みを進め、「楽しいことがたくさんある幼稚園」「明日も行きたいと思える幼稚園」「園児のやる気、意欲を高める幼稚園」「小学校への基礎を育む幼稚園」をめざし、より一層、信頼される園づくりのための再出発の年度として教育・保育を進めていく。

3. 評価項目及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
年間指導計画の設定・実践の充実を図る	・本園の目標、重点課題をふまえ、各学年、各クラスでの年間計画、週指導案、実践の成果、課題を全教職員、各学年、担当チームで丁寧かつ具体的に振り返り、組織的、チームとしての取り組みを推進出来た。
保育方針、活動の発信を積極的に進め、本園の保育・教育への啓発、理解に努める	・日々の保育や行事での活動内容や子どもの様子を、毎日ホームページに掲載し、日々の保育、教育について積極的に情報を提供してきた。 また、「わかりやすい」「読みたい」と思える園便り、クラス便りになるよう、構成、内容、カット等を工夫し保育内容の紹介、理解に努めた。
教員の資質向上、力量の向上に努める	・クラス、学年、本園の子どもの実態や課題等を踏まえ、研修の目的や獲得目標を明確にして積極的に参加し、学んだことを日々の保育、行事等に生かした。 ・保育・教育内容のねらい、成果、課題等を管理職、先輩教員がリーダーシップを発揮し、全教員で振り返り、日々の保育や行事での指導の充実に努めた。 ・危機管理能力を高めるために、園児の怪我、火災や地震、風水害等の防災、食アレルギーについて、園外での研修も生かした園内研修を開催し、研修を深めた。
預かり保育の充実を図る	・子どもにとって、楽しく、かつ安心、安全な保育が進められるよう工作など様々な室内遊びを工夫し、天気の良い日は異年齢集団で外遊びをするなど、生き生きした預かり保育になるように努めた。 活動内容や子どもの実態等について、預かり担当と担任、管理職で打ち合わせをし、保育を進めてきた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・取り組みの成果や課題等を振り返り、保育・教育で大切にしていける保育内容を、教職員全体で明確にして実践することが出来た。
- ・組織、チームの活動を大切に、教職員集団として連携、協力して取り組みを進めることが出来た。
- ・情報発信に努め、保護者と園との連携、協力、協働の取り組み、保護者間のつながりを大切にした保育やPTA活動を推進し、お互いの信頼関係を深め、保育を進めた。

5. 今後取り組むべき課題

施設設備の充実	本年度、耐震工事を実施し、安心、安全なハード面の整備に努めてきたが、今後とも、保育施設、設備の安全対策や環境整備に努め、より安全で充実した保育環境作りを進めていく。
「子育て相談」の一層の充実	キンダーカウンセラー事業を活用し、子育て相談、教育相談を実施した。より一層、保護者、教職員が子育て相談、保育活動の相談が出来るようカウンセラーとの打ち合わせ、連携を積極的に図っていききたい。
特別支援教育の充実	支援のありかたや園児への個別、具体的な対応について効果的に学び実践に生かしていくために、支援教育の視点やポイント、園児への関わり等について、各市教育委員会や関係機関と連携しアドバイスも受け、支援教育の充実を図っていく。

6. 学校関係者の評価

本年度は、後援育友会の運営委員8人に参加いただいている学校関係者の評価委員会を、年3回開催した。6月に実施した1回目の委員会では、本年度の重点目標、耐震工事、後援会活動内容や連携行事を中心に話し合った。2回目は10月に実施し、前期の取り組みを振り返り、後期の取り組み内容について確認した。3回目は、2月に実施し、後期、並びに1年間の振り返り、成果、課題、次年度の主な活動内容等について話し合った。3回とも、本園の教育目標や重点課題を踏まえ、教育・保育内容、子どもの現状、取り組みの成果、課題等を中心にして、情報交換、意見交換を積極的に行い、意見、提言、評価を受けてきた。

評価者は、園の保育、行事への協力、後援育友会の打ち合わせ、会議、行事等の準備等で来園する機会が非常に多く、保育や活動内容、園児の様子を良く把握出来ており、教職員が明るく、元気でチームワーク良く業務を遂行し、園児が楽しく元気に活動出来ているとの高い評価を受けている。

本年度は、耐震工事を実施し、保育室の教材等の荷物の移動、職員室の仮移動などあり、あわただしい年でもあったが、学校関係者の協力もいただき、スムーズに教育・保育内容について確認し合い、進めることが出来た。本園が重点として取り組んでいるホームページを活用した保育内容の発信や活動報告の提供については次年度以降も継続して欲しいという要望があった。

次年度も、学校関係者評価や保護者の意見、願い、要望等も踏まえ、家庭や学校関係者、後援育友会とのつながりや協働の取り組みを進め、信頼関係を一層深めるとともに、教職員の力量をより一層高め、保育・教育の充実を図っていききたい。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。